

(事例10) 60歳男性、事務作業、肺気腫のため軽作業に限る

類型	症候	疾患
1, 3	1. 自覚症状のない低酸素血症	5. 肺気腫

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 60歳 男性 2) 業種、作業内容 事務作業		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 肺気腫		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 要就業制限 事務作業、軽作業に限る。禁煙と治療の継続を要する。職場全体でも風邪蔓延防止のため手洗い・うがい励行、冬季の部屋の加湿、体調不良時は休むなどの注意をお願いします。		
4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) 職場での健診・ドックで胸部X線、CT検査にて肺気腫を認めた。精査にて血中酸素分圧50台、二酸化炭素分圧40台、在宅酸素療法を勧められるも自覚症状ないため本人拒否、禁煙と吸入薬で経過観察中。		
5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可) ①業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため ③健康管理を促進するため(受診、治療を強く進めるため)		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください 長年肺気腫の所見あり禁煙を進めてきたが、状態悪化によりようやく禁煙に至った。		